

### 第3次稚内市総合計画 施策実施状況調査

#### 01 市民に開かれたまちづくり

#### 04 計画行政の推進

#### 01 行・財政改革の推進

主要施策	施策実施状況(※1)						問題点、課題
	実施 状況	進捗率		第4 次の 方向 性	小項目の総合的評価		
		(%)	ベース		評価	評価内容	
10 自主的・計画的な行・財政改革の推進 (政策経営室)	4	70%	2	1	2	<p>・行財政改革は、日常的に改革の進捗管理や見直しが必要となることから、一体的な組織が必要となっていた。そこで、組織機構の見直しにおいて行財政改革を一体的に担う政策経営室を立ち上げ、より効率・効果的な行政運営を行なうため、行政運営を経営という視点で捉え、施策の選択と集中や優先順位付けの徹底、成果を重視し、質の高い行政サービスの提供などによるマネジメントサイクル(P-D-C-A)の確立を目指すものであった。この確立に向け、行政評価の導入や実施計画管理などを実施してきた。</p> <p>・一定程度、システムとして身についたという成果は見られるが、まだ、職員個々に経営という視点や考え方が浸透していない。</p>	<p>・益々地方財政は厳しい環境にさらされることから、更なる効率・効果的な行政運営が求められる。事務事業を執行する場合において、市民からその成果や必要性について説明を求められる機会が増えてくるのが想定される。今後においては、更に施策等の選択と集中が重要となることから、その手段として行政評価の有効性が求められ、そのシステムの確立が急務となると考える。更に、職員に対して、市の財政状況の把握させるだけでなく、事業を執行する場合職員それぞれが取組んだ仕事の結果、市がどういった債務状態に陥っているのかという観点が必要であり、職員が最後まで仕事の行方を見るという財政感覚を磨く方策が必要である。</p>
20 行・財政改革推進体制の整備 (政策経営室)	4	90%	2	1			